

自治体職員向けローカルSDGs / 地域循環共生圏セミナー

ローカルSDGsの指標と

達成度評価

～活用可能なサイト/ツールの紹介と
トライアル（試してみましよう！）～

日時: 11月6日(月)13:30～16:30

会場: ウィンクあいち 12階・会議室1201

(名古屋市中村区名駅4丁目4-38 / 名古屋駅から徒歩5分 / <https://www.winc-aichijp/access>)

対象 自治体職員 **定員** 50人 (参加無料)

参加方法 参加申込フォーム: 下記URLから
<https://forms.gle/vsLFMuaGZ7noPsF79>

- ・ 右のQRコードからも申込可能です。
- ・ ウェブサイト(※「EPO中部」で検索)からも申込できます。



第1部

- ・ ごあいさつ、情報提供
—— 環境省中部地方環境事務所環境対策課
- ・ EPO中部の紹介と本日の趣旨について
—— EPO中部
- ・ [基調講演] ローカルSDGsの策定とその達成に向けた
アクションを誘発するオンラインプラットフォーム
自分の地域で試してみる
・ ローカルSDGsプラットフォーム <https://local-sdgs.jp>
・ プラットフォームクローバー <https://platform-clover.net>
—— 法政大学デザイン工学部教授 川久保 俊 氏
- ・ [話題提供] 自治体SDGsモニタリングツールと達成度評価(2015-2022)
自分の地域で試してみる
・ 自治体SDGsモニタリング達成度ダッシュボード
https://chubu-sdgs-platform.jp/information_dissemination/
—— 国際連合地域開発センター研究員 浦上 奈々 氏
- ・ [事例を伝える化] EPO中部による「SDGs指標物語」と「活動見える化プログラム」
—— EPO中部 原 理史

第2部

- ・ 共有ディスカッション(SDGsの活用・実践における課題感、今回紹介サイト/ツールの活用アイデア)、川久保先生による講評 など

自分の地域で試してみる → ご参加の際、ノートPCやタブレットなどをご持参されますと、講師の解説を聞きながら、実際にサイト/ツールをお試しいただけます。

主催: 環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)

5 地域循環共生圏の創造に資するための推進業務

(1) 地域プラットフォームの環境整備支援等業務

ア プラットフォーム団体への伴走支援等

- 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業の採択団体（中部ブロックは2団体）に対し、環境整備のプロセスに関わる伴走支援（月1回以上の採択団体との接触）を次の通り行った。

	PF 丹南:ローカル SD クリエーション【継続】	PF 大町:荒山林業【継続】
4月	<ul style="list-style-type: none"> ● 4/26 打合せヒアリングを実施。 ● 環境共生学会誌に「SDGs 指標物語」の試行事例としてPF 丹南掲載の件を連絡。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 4/19 地域政策課の調整により、PF 大町と MIT とのオンライン意見交換を実施。途中まで EPO も傍聴。 ● 4/27 打合せヒアリングを実施。
5月	<ul style="list-style-type: none"> ● 5/8 に関係団体による酒米づくりイベントの広報協力の電話依頼。 ● 中間共有会の PF 丹南での実施について日程調整。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 5/2 大学生の地域づくり参加についての連絡あり(PF 事業アドバイザー委員からの依頼)。 ● 5/10 に大学生訪問等についてのオンライン打合せ。 ● 5 月末頃、採択団体の名称変更方法について確認・連絡等の遣り取りあり。
■6/7-8 キックオフミーティング		
6月	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間共有会に関する段取り・進め方、今後の活動(イベント)予定確認等の連絡。 ● 6/20 次回打合せの日程調整連絡。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 6/7 キックオフにて、7/8-9 開催・Life on the Lake 夏のほとりの広報協力の連絡あり。Facebook での広報展開協力を実施。 ● 大学生訪問の実施内容等の連絡調整。
7月	<ul style="list-style-type: none"> ● 7/13 打合せ(SHミーティング、中間共有会、中部事務所による情報提供、意見交換等)を実施。中間共有会の視察箇所・方法等について地域側で検討。 ● SH ミーティングを 12/11-15 日実施予定で調整。 	(7/8-9 Life on the Lake 夏のほとり開催) <ul style="list-style-type: none"> ● 7/13 水循環事業担当課との 7/18 意見交換実施の連絡あり。あわせて市対応についての相談あり。 ● 7/18 市総務部(水循環事業担当部署)との意見交換の報告の電話あり。
8月	<ul style="list-style-type: none"> ● 8/9 里山里海体験プログラムのモニターツアーの参加募集の広報協力依頼のメール連絡。WEB サイト、SNS にて掲載協力。 ● 中間共有会、SH ミーティングについての打合せ設定連絡。 	(8/1-3 大学生の大町訪問) <ul style="list-style-type: none"> ● 大学生ゼミ合宿が 8/16 付の地元新聞に記事掲載のメール連絡。
9月	<ul style="list-style-type: none"> ● 9/1 中間共有会についての打合せ。エクスカーショ訪問先を協議。 ● 市への呼びかけ、エクスカーショ訪問先について電話・メール打合せ。 ● 9/26 飯盛先生、全国事務局による視察に EPO も同行。 ● 白山地区 SH 用の Facebook グループの試行版(非公開)を EPO 側で開設。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 打合せの設定依頼を連絡。 ● 9/21 市との連携展開についての団体側イメージについて連絡。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ● 10/2 オンライン打合せ。中間共有会エクスカーショ、SH ミーティング、今後の活動等について情報共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 10/5 オンライン打合せ。 ● 10/9 共有会出席者リストの送付。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ● エクスカーショ訪問先についての調整連絡。 ● 発表用資料についての連絡対応 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発表用資料についての連絡対応。
	■11/9-10 中間共有会	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 白山地区SH用の Facebook グループの公開版を EPO が開設。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地球環境基金の申請についての相談対応。
12月	<ul style="list-style-type: none"> ● 12/15SHミーティングの打合せ。内容・時期・役割分担等について協議。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 12/22 電話で SH ミーティング実施について確認連絡。(団体名変更、成果報告会のブース進行役について質問あり。)

	PF 丹南:ローカル SD クリエーション【継続】	PF 大町:荒山林業【継続】
1月	<ul style="list-style-type: none"> 1/9 電話で 2/1 に SH ミーティングを実施で日程調整の連絡あり。講師役の相談あり(中部事務所へも相談)。震災被害の有無等も確認。 1/29SH ミーティングの準備について確認の電話連絡。開催についてメール配信依頼。チラシを受け取り、SNS 掲載。 	(Life on the Lake1/14 開催) <ul style="list-style-type: none"> SH ミーティング実施について電話・メール連絡。
2月	<ul style="list-style-type: none"> 2/1SH ミーティング開催。模造紙、付箋、カラーペン等をEPOで準備。 終了後、今後の展開について相談・確認。 	<ul style="list-style-type: none"> 長野県休眠預金事業の暮らす room's 主催「長野県の森を語ろう！それぞれの地域の森を取り巻く情報交換」への登壇・共催を SH ミーティングに位置づけたいとのメール連絡あり。 SH ミーティングとしての開催の留意点について確認の電話・メールでの遣り取り。
3月	■3/7-8 成果共有会	

イ 年度当初時ヒアリング

①実施概要

- 環境整備 2 団体を対象に、事業着手時ヒアリングを実施した。

活動団体名	実施日/場所	ヒアリング項目
ローカルSDクリエーション(PF丹南) 【継続】 (福井県丹南地区)	2022年4月26日/ 福井市地域交流プラザ 研修室(福井県福井市)	Q.: 本事業を通じて、形成するプラットフォームのイメージとは? Q.: 今年度の取り掛かり、何をどこまでやるか?(事業のタネのアイデア) Q.: 今年度のイベント等の予定(※ステークホルダーミーティング含む)
荒山林業(PF大町) 【継続】 (長野県大町市)	2023年4月27日/ 長野県大町合同庁舎(長野県大町市)	Q.: 事業を進める上での課題とそれを解決するための方策などは? Q.: 事業を進めるにあたっての協力者・ステークホルダーは?

②調査対象(ヒアリング出席者・同席者)

ローカルSDクリエーション(PF丹南)	合同会社 SD ローカルクリエーション 三田村佳政氏
荒山林業(PF大町)	荒山林業 荒山あゆみ氏、荒山雄大氏 株式会社山川草木 香山由人氏 北アルプス地域振興局林務課 高野毅氏 ほか、委託先:やまとわ など4名

③ヒアリング結果(ヒアリングシートの作成)

- ヒアリング実施後、所定のヒアリングシート(GEOC 提示のフォーマット)に聴取内容を整理、記入し、中部地方環境事務所と共有のうえ、GEOC に提出した。

ウ 採択団体の支援計画の作成・提出

- ヒアリングシートの作成にあわせて、各プラットフォーム団体(継続団体も含む)の支援計画シート「環境整備フォローシート」(いずれも GEOC 提示のフォーマット)を作成し、中部地方環境事務所と共有のうえ、GEOC に提出した。

【作成した支援計画シート（環境整備フォローシート）の一部】PF 丹南

R5 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏プラットフォーム構築事業 環境整備活動団体

環境整備支援：年間計画

担当EPO	EPO中部	団体概要	PF丹南：合同会社ローカルSDソリューション 福井県越前市を中心とする丹南エリアにおいて、採択団体が中心となって、富山整備副産物を利用した海洋資源保全に関するコンソーシアムの構築を目指す。									
記入者	栗田夏子											
記入日	2023.05.01											

●活動団体のイベントスケジュール 予定を灰色で記入してください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月
全体行事			キックオフ									成果発表会
1) 中間共有会										丹南にて中間共有会(予定)		
2) エコツアー実証イベント		竹島漁づくりイベント		シュノーケリングイベント		海洋ゴミ活用イベント					森カフェ、アウトドアクッキングイベント等	
3) SHの会合等					SH会合(アイデア出し)					SHミーティング		
4) その他		※SHによるエコツアー先産地視察(時期未定)										

意見交換会、WSなどの予定列を適宜追加してください。

【作成した支援計画シート（環境整備フォローシート）の一部】PF 大町

R5 環境で地域を元気にする 地域循環共生圏プラットフォーム構築事業 環境整備活動団体

環境整備支援：年間計画

担当EPO	EPO中部	団体概要	PF大町：富山林業 長野県大町市の林業家を中心に集めたPFで、地元木材活用のための製材・乾燥拠点づくり、地域資源である森と湖を活用した地域づくり（on the lakeプロジェクト）に取り組んでいる。									
記入者	栗田夏子											
記入日	2023.05.01											

●活動団体のイベントスケジュール 予定を灰色で記入してください。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5 1月	2月	3月
全体行事			キックオフ									成果発表会
1) 中間共有会										中間共有会(予定)		
2) 地域材活用の取組		南砺市の広葉樹コンシジュムとの勉強会			農事者の森林フォーラム、円卓会議への協力(未定)			製材マルシェ				関係者へのインプット(視察等)(時期未定)
3) on the lake プロジェクト			【ライブ】学びの場/WS①		【ライブ】遊覧船から体験イベント①			【ライブ】遊覧船から体験イベント②				【ライブ】学びの場②も実施予定あり
4) ステークホルダーミーティング		※上記3)のライブ on the lake、または、ライブ on the lakeとの併催を予定										

意見交換会、WSなどの予定列を適宜追加してください。

(2) 中間共有会

①会議名

- 地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業 中部ブロック中間共有会

②日時

- 中間共有会：2023年11月9日（木）13：15～16：15
- エクスカーション（視察）：2023年11月10日（金）8：30～15：00

③会場

■中間共有会

- 開催会場：市民プラザたけふ 3階・多目的室1（福井県越前市）

■エクスカーション

- 視察地（福井県丹南エリア）：しらやまいこい館/コウノトリ PR館、坂口地区、農家レストラン 白山さんち、越前マリンサービス、道の駅 越前たけふ

④出席者

- 24名

氏名	所属先	1日目 共有会	2日目 視察	備考
三田村 佳政	合同会社ローカル SD クリエーション	参加	参加	PF 丹南
野村 みゆき	越前市さかのくち活性化協議会 越前市エコレッジ交流センター	参加	-	PF 丹南
前田 利博	しらやま振興会事務局長	参加	-	PF 丹南
小池 幸弘	越前市環境農林部環境政策課	参加	-	
谷口 尚謙	越前市環境農林部農政課	参加	-	
山田 幸平	越前市環境農林部環境政策課	参加	-	
高野 翔平	越前市環境農林部農政課	参加	-	
荒山 あゆみ	荒山林業	参加	参加	PF 大町
荒山 雄大	荒山林業	参加	参加	PF 大町
帯川 恵輔	荒山林業	参加	参加	PF 大町
入口 翔	ななお SDGs スイッチ／のど共栄信用金庫	参加	参加	先輩団体:PF 七尾
加藤 義人	岐阜大学 客員教授	参加	-	ESD/EPO(中部)運営委員
水上 聡子	アルマス・バイオコスモス研究所代表	参加	-	ESD/EPO(中部)運営委員
清間 笑奈	環境省大臣官房地域政策課	参加	参加	
深津 英里	環境省大臣官房地域政策課	参加	参加	
野杵 拓	環境省大臣官房地域政策課	参加	参加	
曾山 信雄	環境省中部地方環境事務所環境対策課	参加	参加	
縄野 正衡	環境省中部地方環境事務所環境対策課	参加	参加	
小森 清志	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	参加	参加	
江口 健介	地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)	参加	参加	
鈴木 良壽	地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)	参加	参加	
清本 三郎	EPO 中部	参加	参加	
原 理史	EPO 中部	参加	参加	
富田 夏子	EPO 中部	参加	参加	



⑤プログラム

地域循環共生圏づくりPF構築事業 **中間共有会（中部ブロック会合）** の開催

- **日時** 2023年11月9日(木)13:15～16:15
- **会場** 市民プラザたけふ 3階・多目的室1
 - 福井県越前市府中1-11-2 (JR武生駅に隣接)
 - Googleマップ: <https://goo.gl/maps/7VP7uNGB54q5jht68>
- **実施内容(プログラム) 予定**
 1. ごあいさつ
 2. 環境整備活動団体の取組発表 (30分=15分×2団体)
 - ①【PF丹南】合同会社ローカルSDクリエーション
 - ②【PF大町】荒山林業
 3. 先輩団体による取組状況と環境整備活動団体へのエール (15分×1団体)

【PF七尾】ななおSDGsスイッチ 入口 翔氏 (のと共栄信用金庫業務企画部兼総合戦略部次長、七尾青年会議所副理事長)
 4. ディスカッション
 - ◆ 講評・感想など
 - ・ 岐阜大学工学部客員教授 加藤義人氏 ※ESD/EPO運営委員会(中部)の委員
 - ・ アルマス・バイオコスモス研究所代表 水上聡子氏 ※ESD/EPO運営委員会(中部)の委員

(※途中、「休憩&交流タイム」を挟む予定です。)
 5. 事務局からの連絡／閉会

1

⑥11月10日実施・PF丹南（ローカルSDクリエーション）のガイドによる視察の様子





(3) ステークホルダーミーティング業務

- PF 丹南はステークホルダーミーティングを2月1日にワークショップ方式で実施し、EPO 中部はワークショップ用のツール、シート（模造紙）等の準備支援を行った。また、当日参加し、参加者の意見・アイデアを模造紙上で整理、図示化するなどの支援を行った。
- PF 大町は2月19日に、暮らす room's 主催、on the lake（荒山林業）共催によるオンラインイベント『長野県の森を語ろう！それぞれの地域の森を取り巻く情報交換』を開催し、これをステークホルダーミーティングとして位置づけた。



活動団体名	実施日/場所・方法	EPOが実施した支援等
ローカルSDクリエイション（PF丹南）	2024年2月1日/ 白山さんち （福井県越前市）	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスカッション用の模造紙、カラーペン、付箋等のワークショップツールの準備 ● 当日にオブザーバー参加、ディスカッションで出てきた意見・アイデアの整理・まとめ
荒山林業（PF大町）	2024年2月19日/ オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 共催及びステークホルダーミーティング実施にあたっての留意事項などを協議・連絡 ● 当日にオブザーバー参加

(4) GEOC が主催する会議等への参加

- 環境省、GEOC が主催する地域循環共生圏づくりプラットフォーム構築事業関連の会議・会合等について、下記の会合等に参加した。
- キックオフミーティング及び成果報告会では活動団体による資料準備での作成内容の解説、作成後の確認等の支援を実施したほか、当日の意見交換／ポスターセッションでは、ファシリテーターとしてディスカッションの進行等を行った。

会合	開催日	会場/開催方法	実施内容等
キックオフミーティング	6月7日～8日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域循環共生圏プラットフォーム構築事業の概要説明 ● 事業の進め方(事業スケジュールと事務局について) ● 講話:先輩地域より:富士市、一般社団法人 Reborn Art Festival ● 継続団体(計11団体)の発表/個別ディスカッションタイム ● 新規採択団体(計10団体)の発表/個別ディスカッションタイム ● 全体振り返り
作業部会	第1回 9月11日	会場:GEOC	<ul style="list-style-type: none"> ● R5 年度環境整備活動団体の進捗共有 ● 上記に基づく、アクションサイクルモデルに対する環境整備活動団体からのフィードバック整理、地域事例の蓄積 ● 上記に基づく、環境整備支援ノウハウの相互参照、蓄積
	第2回 2月9日	会場:GEOC	<ul style="list-style-type: none"> ● 【議題1】共生圏 PF 事業全体の振り返り ● 【議題2】R5 環境整備支援の現状共有 ● 【議題3-1】地域循環共生圏づくりにおける中間支援ポイント抽出 ● 【議題3-2】地域循環共生圏づくりにおける中間支援ポイント抽出
共有会	5月16日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度年間予定について ● ヒアリング・支援計画の共有 ● 6/7-8 キックオフ企画について ● その他情報共有(Platform Clover について)
PF 事業形成会議	12月8日	オンライン	<ul style="list-style-type: none"> ● 【議題1】共生圏 PF 事業全体の進捗状況について ● 【議題2】共生圏 PF 後継事業について ● 【議題3】R5 年度末の予定について
成果共有会	3月7日～8日	会場:TKP 新橋カンファレンスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ● 各団体による成果発表、ポスターセッション ● ネットワーキングイベント

(5) 事業化支援団体の活動の情報共有

- 今年度の中部エリアでは、なお SDGs スイッチが事業化支援に採択された。
- 下記の関連会議・打合せに同席し、事業化支援団体の活動内容、及び全国事務局等による支援内容・方法等についての情報収集を行った。

	実施日	場所・方法	実施事項
1	5月18日	オンライン傍聴	<ul style="list-style-type: none"> ● 昨年度事業の振り返り(特に課題面) ● 今年度事業で特に注力したい点・実施体制の確認
2	7月11日	オンライン傍聴	<ul style="list-style-type: none"> ● SDGs 未来都市の選定に関する共有 ● 今後の進め方
3	8月28日	リアル出席 会場: のと共栄信用金庫	<ul style="list-style-type: none"> ● なお SDGs スイッチの昨年度までの取組について ● なお SDGs サポートパッケージ ● なお SDGs スイッチ 2023 年度事業(案)
4	9月13日	オンライン傍聴	<ul style="list-style-type: none"> ● マンダラ図について ● プラットフォームのコンセプト・ビジョンの検討状況 ● 事業内容の検討状況
	8月22日	(ハイブリッド開催) オンライン傍聴	<ul style="list-style-type: none"> ● 九州 PF 団体「八女が好き 8C! やめスマ研究所」のステークホルダーミーティングに、なお SDGs スイッチが登壇して取組紹介

(6) 卒業団体のフォローアップ調査

- 中部エリアの卒業団体の一つである「一般社団法人スマート・テロワール協会」を対象にしたフォローアップ調査を12月15日に実施し、その内容を取りまとめたヒアリング結果シートを作成し、全国事務局へ提出した。

【提出したヒアリング結果シート】

————— 【ヒアリングシート】 —————	
【実施日時】2023年12月15日	【記入者】EPO 中部 富田
【形態】オンライン	
【参加者】一般社団法人 スマート・テロワール協会 勝亦達夫（信州大学キャリア教育・サポートセンター講師）	
【団体の状況】	
<ul style="list-style-type: none"> ● 人づくりに関わる活動は今も動いている。チェーンソー講習や里山整備プロジェクトなどはPF事業終了後の現在も継続実施している。 ● SHが開催するイベントの情報などが勝亦氏のところに集約されることにより、ほかのSHにも情報共有される体制となりつつあり、SH同士のつながりも続いている。普段は個別に各々の活動に取り組んでいるSHであるが、PFといった形はないが、有機的なつながりは今も続いている。 	
【ヒアリング要旨】	
<ul style="list-style-type: none"> ■ PF事業前後での変化について <ul style="list-style-type: none"> ▪ 地域の将来像マンダラについては、正直、はじめは言われて作っただけだったが、ビジョンが明確化し、具体的に地域課題や取組主体、着地点などが見えてくると、地域として取り組んでいく上での突破口になってくれたように感じている。 ▪ 地域の取組を継続させる上で、地域の人たちが色々な意見やモチベーションを持つが、そういった地域の中にあるものを、さらに地域内へ伝播させる機能が重要と考えられるようになった。小布施の場合は「日本笑顔プロジェクト」を立ち上げた浄光寺という求心力のある拠点があった。PF事業に取り組む中で、市の政策への影響においても個別のアクションにおいても、地域内外両方に伝播させるベクトルをもった浄光寺のような存在が、重要な役割を果たすようになっていった。地域のネットワークは良質なコミュニティメディアとなり得るものであり、情報のインプットと地域内外への伝播を今後も大切にしていきたい。 ■ 成果物4点セットについて <ul style="list-style-type: none"> ▪ 数値は根拠として重要になる。ただ、「測り方」が大切であるし難しい。また、数字に囚われすぎることでも良いことではない。地域の中でお金がどのように循環しているかについて、地域で共有し、加えて無関心層の意識変化にもつなげていくために、データを活用することも重要であると、PF事業の成果物を作成していく中で考えるようになった。 ▪ 特にマンダラについては常に検証し、バージョンの更新を続けた。今後はさらに、地域版のマンダラと広域エリア版のマンダラを統合させていくことにより、さらにバージョンアップしたマンダラ作成が可能になるのではと考えている。 ■ 継続できなかった活動について <ul style="list-style-type: none"> ▪ プロジェクトの中で、実現できなかった取組としてソーラーシェアリングがある。実現できなかった背景として、地域内での調整に時間を要したほか、再エネコストの上昇、連携していた再エネ会社が自社事業に専念しなくてはならない状況になったことなどがあげられる。 	

やはり地域の中で利益を得る主体を明確にした上で、自分たちが必要なものを自分たちの手で築いていくことが重要だと改めて考えた。

- 酒米づくりについても、今年は猛暑の影響で不作だった。「種の図書館プロジェクト」も関連するが、タネ・モミ不足なども阻害要因となっていた。一方で、地域の中に確保されていたタネにより、生産できるようになった農作物もあったと聞いており、地域のまとまりが地域づくりのカギになるのだと改めて感じた。

■ 今後取り組みたい／関心のあるテーマ等について

- PF 事業の成果を、次の段階へとどのように活かしていくべきか考えている。林業や教育、流通・交通など、様々な分野に関わる地域課題を環境の側面から解決し、さらに地域経済もまわせる方法を考えていきたい。例えば、空家問題であれば、環境と建築を掛け合わせながら空家を再生・活用し、地域にお金もまわる仕組みができないかと考えているところである。

■ 環境省・事業事務局からの支援について

- PF 事業に採択されていた間は、コロナにより、成果報告会等の関連会合の殆どがリアル開催されなかった。しかし、卒業団体となった後ではあるが、中間共有会などのリアル会合に参加させてもらうことができてよかった。
- 今後の卒業団体への支援として、そうした会合等への案内や、関連情報の提供などを期待したい。会合については、中間共有会のように東京開催ではなく、地方開催があるとありがたいと思った。卒業団体ではあるが、同じ PF 団体が集まる会合に参加して、他の団体の取組状況など、ぜひ有益な情報をインプットしていきたい。また、そうしたほかの地域／団体地域とのつながりを、今後も活かせるような支援を期待したい。

■ これから PF 事業に取り組む団体等へのアドバイスとして

- この事業は、地域課題の解決を目指し、地域の中にあるもの・課題・やりたい人などを一つだけに絞って取り組んでいくものではなく、地域の中に様々なものをつないでいくことにより、新しいものが地域に生まれていく事業である。そんなことを、これから取り組まれる団体へはお伝えしたい。

*複数頁になっても構いません。

(7) 身近な自然資本活用に関する意見交換会の開催

ア 信州の森・里山フォーラム「地域資源としての森林・里山の価値向上について考える」

①日時

- 2023年12月19日（火）13:30～16:00

②会場

- 長野市生涯学習センター 第1・第2学習室（長野県長野市）

③主催等

- 主催：環境省中部地方環境事務所・中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）
- 共催：林野庁中部森林管理局

④参加者

- 95名
 - 会場参加25名（登壇者、事務局含む）
 - オンライン：zoom接続43件、YouTubeライブ配信ユニーク視聴者数27件

⑤プログラム

○あいさつ

○情報提供

本フォーラムの趣旨について

「信州における森林経営、森林サービスの現状と今後の展開への期待について」

林野庁中部森林管理局

「森林の利活用と交流人口の増加を目指して」

長野県林務部 信州の木活用課

○取組紹介

「東急リゾートタウン蓼科のもりぐらし」

東急リゾート&ステイ株式会社 資産企画統括部 徳田 圭太 氏

「地域商社・機能会社をとおした森林価値を高める多角的な事業」

株式会社トビムシ 飯泉 浩二 氏

「森林・里山の課題の解決と新たな価値創出」

フォレストデザイン 代表 余頃 友康 氏

「循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた“木”にかかわる新たなチャレンジ」

中部電力株式会社 経営戦略本部 地域インフラ事業推進室 川口 雅哉 氏

○ディスカッション「森林・里山の利活用と価値の向上について」

パネリスト：東急リゾート&ステイ株式会社 資産企画統括部 徳田 圭太 氏

株式会社トビムシ 飯泉 浩二 氏

フォレストデザイン 代表 余頃 友康 氏

中部電力株式会社 経営戦略本部 地域インフラ事業推進室 川口 雅哉 氏

林野庁中部森林管理局長 今泉 裕治 氏

長野県林務部信州の木活用課長 千代 登 氏

進行：環境省 中部地方環境事務所



⑥開催案内チラシ



信州の森・里山フォーラム

地域資源としての 森林・里山の価値向上について考える

2023年12月19日(火) 13:30~16:00

プログラム(予定) ※変更になることがあります。

<p>■ 情報提供</p> <p>■ 森づくり・里山保全等の取組紹介</p> <p>■ ディスカッション</p>	<p>本フォーラムの趣旨について 信州における森林経営、森林サービスの現状と今後の展開への期待について(仮) 森林の利活用と交流人口の増加を目指して</p> <p>東急リゾートタウン夢科の「もりぐらし」 東急リゾート&ステイ株式会社 資産企画統括部 徳田 圭太 氏 地域商社・機能会社をとした森林価値を高める多角的な事業 株式会社トビムシ 飯泉 浩二 氏 森林・里山の課題の解決と新たな価値創出 フォレストデザイン 代表 余碩 友康 氏 循環型社会・脱炭素社会の実現に向けた、「木」にかかわる新たなチャレンジ 中部電力株式会社 経営戦略本部 地域インフラ事業推進室 川口 雅哉 氏</p> <p>森林・里山の利活用と価値の向上について</p>	<p>環境省 中部地方環境事務所 長野県 中部森林管理局 長野県 林務部 信州の木活用課</p> <p>進行：環境省 中部地方環境事務所</p>
--	---	--

参加方法	申込方法
<p>参加方法は次の ① ② ③ のいずれか となります。参加申込フォームの中で選択してください。</p> <p>① 会場参加 長野市生涯学習センター第1・第2学習室(トイゴウエスト3階) 長野市大字鐘真岡部所町1271番地3 / JR長野駅 善光寺口より徒歩約10分 Googleマップ: https://maps.app.goo.gl/hyD8u2i1N69Y64oH9</p> <p>② ZOOM参加</p> <p>③ YouTube視聴</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>質問等をされたい方は、「① 会場参加」もしくは「② ZOOM参加」をぜひお選びください。</p> </div>	<p>● 参加申込フォームからお申し込みください。</p>  <p>参加申込フォーム: https://forms.gle/DadoXMBaz2ALd3deU9</p> <p>● EPO中部ウェブサイトからも申込できます。</p> <p>EPO 中部 <input type="button" value="検索"/></p>

主 催：環境省中部地方環境事務所・中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)
共 催：長野県中部森林管理局

イ 企業の生物多様性保全の取組についての勉強会

①日時

- 2024年1月26日（金）13:30～16:00

②会場

- 開催方法：ハイブリッド
 - オンライン：zoom
 - 会場：名古屋能楽堂 会議室（愛知県名古屋市）

③主催等

- 主催：中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）
- 後援：環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）

④参加者

- 132名
 - 会場参加41名（登壇者・関係者含む）
 - オンライン：zoom参加20件、YouTubeライブ配信ユニーク視聴者数71件

⑤プログラム

- あいさつ
- 自然共生サイトの概要説明 環境省中部地方環境事務所
- 講演1「自然共生サイト申請のポイント」～都市近郊の緑地の研究から見た課題～
名城大学農学部 准教授 橋本 啓史 氏
- 講演2「人の手で維持されてきた自然環境を未来に残すには」～両生類の保全の現場から～
愛知教育大学理科教育講座 准教授 島田 知彦 氏
- 自然共生サイトの事例紹介
 - 「リコーえなの森」株式会社リコー
 - 「テクノ中部本店ビル屋上ビオトープ」株式会社テクノ中部
 - 「人間環境大学 岡崎キャンパス演習林」人間環境大学
 - 「トヨタの森」トヨタ自動車株式会社
 - 「ビオトープながおか」シヤチハタ株式会社
- 自然共生サイト認定企業とのグループディスカッション
- 質疑応答、講評
- 閉会のあいさつ



⑥開催案内資料

EPOC 会員企業用

 <p>地域循環共生圏構築に向けた 自然資本活用に関する意見交換会</p> <h2>企業の生物多様性保全の取組についての勉強会</h2> <p>2024年1月26日(金)13:30～16:00</p> <p>主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部） 後援：環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）</p>	<h3>プログラム 1/2</h3> <p>13:30～</p> <p>▶ 第1部 <small>会場参加 / Zoom参加 / YouTube配信（一般視聴）</small></p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ご挨拶 環境省中部地方環境事務所 ■ 講演① 名城大学農学部准教授 橋本 啓史 氏 ■ 講演② 愛知教育大学理科教育講座 准教授 島田 知彦 氏 <p>■ 自然共生サイトの事例紹介 自然共生サイト認定企業5社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リコーえなの森… 株式会社リコー ・ テクノ中部本店ビル屋上ビオトープ… 株式会社テクノ中部 ・ 人間環境大学 岡崎キャンパス演習林… 人間環境大学 ・ トヨタの森… トヨタ自動車株式会社 ・ ビオトープながおか… シヤチハタ株式会社
<h3>プログラム 2/2</h3> <p>15:05～ 休憩(5分)</p> <p>15:10～</p> <p>▶ 第2部：EPOC会合 <small>会場参加 / Zoom参加</small> 司会 / ファシリテーター：環境省中部地方環境事務所</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 自然共生サイト認定企業とのグループディスカッション ■ 質疑応答 ■ まとめ（講演講師による講評） <p>16:00</p> <p>▶ 閉会の挨拶 環境省中部地方環境事務所</p> 	<h3>参加方法</h3> <p>▶ 自然共生サイト前期認定企業・EPOC企業対象 …第1部・第2部の会場参加もしくはzoom参加をご希望の方は、下記フォームから参加申込登録をお願いいたします。</p> <p>▶ 会場参加申込：https://forms.gle/UGK2TZQuxchds79</p> <p>▶ zoom参加登録： https://us02web.zoom.us/join?meeting=920ba6e4e64e64f2a48e5e5d117f742 ※登録後、「@zoom.us」メールから参加URLが届きますのでご確認ください。</p> <p>▶ 第1部のみ視聴参加 …第1部はYouTube配信で公開します。配信動画は、EPO中部ウェブサイトから自由にご視聴いただけます。 申込は不要です。</p> <p>▶ YouTube配信の視聴：https://www.epo-chubu.jp</p> 

YouTube 視聴用

<h2>企業の生物多様性保全の取組についての勉強会</h2> <p>2024年1月26日(金)13:30～15:00</p> <p>★ YouTube配信の視聴 ※EPO中部ウェブサイトから https://www.epo-chubu.jp/epo-news/21588.html</p>  <p>主催：環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO中部） 後援：環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）</p>	<h2>プログラム</h2> <ul style="list-style-type: none"> ■ ご挨拶 環境省 中部地方環境事務所 ■ 講演 名城大学農学部准教授 橋本 啓史 氏 『自然共生サイト申請のポイント』 ～都市近郊の緑地の研究から見た課題～ ■ 講演 愛知教育大学理科教育講座准教授 島田 知彦 氏 『人の手で維持されてきた自然環境を未来に残すには』 ～両生類の保全の現場から～ ■ 自然共生サイトの事例紹介 <ul style="list-style-type: none"> ・ リコーえなの森 … 株式会社リコー ・ テクノ中部本店ビル屋上ビオトープ … 株式会社テクノ中部 ・ 人間環境大学 岡崎キャンパス演習林 … 人間環境大学 ・ トヨタの森 … トヨタ自動車株式会社 ・ ビオトープながおか … シヤチハタ株式会社
---	---

(8) グリーン社会実現に向けたステークホルダー連携促進事業

ア 環境へのアプローチを活かした鳥羽の観光創発ミーティング

①日時

- 2024年1月16日(火) 13:00~15:30

②会場

- 鳥羽商工会議所3階・かもめホール (三重県鳥羽市)

③主催等

- 主催：環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO 中部)
- 共催：鳥羽市、鳥羽市温泉振興会

④出席者

- 33名 (観光事業関係者7名、登壇者9名、市関係者13名、事務局4名)

氏名	所属
大西 絵里奈	海女の愛ちゃんが湯く!メンバー
寺田 順三郎	株式会社戸田家
野口 あゆみ	伊勢志摩パリアフリーツアーズセンター
中村 麻央	鳥羽市リサイクルパーク
岩崎 織江	鳥羽市商工会議所
濱口 尚紀	鳥羽市温泉振興会
濱岡 佐代美	鳥羽国際ホテル
谷口 優太	旅館「扇芳閣」
山下 正樹	鳥羽市温泉振興会
大野 愛子	海女・フォトグラファー
坂口 幸司	鳥羽シーサイドホテル株式会社
惣明 福德	伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社
穴倉 秀明	株式会社戸田家
向井 隆広	The Earth
中村 孝	NPO とぼりサイクルネットワーク
吉川 勝也	鳥羽市温泉振興会
中村 欣一郎	鳥羽市
高浪 七重	鳥羽市観光商工課
村山 陽介	鳥羽市観光商工課
村田 直	鳥羽市観光商工課
北橋 亜由那	鳥羽市観光商工課
宮山 恵介	鳥羽市観光商工課
後藤 洸	鳥羽市観光商工課
上村 渡	鳥羽市環境課
中井 理江	鳥羽市環境課
伊藤 緋保	鳥羽市環境課
齋藤 猛	鳥羽市企画財政課
榎原 友喜	鳥羽市農林水産課

氏名	所属
岩尾 豊紀	鳥羽市農林水産課
縄野 正衡	中部地方環境事務所
清本 三郎	EPO 中部
原 理史	EPO 中部
富田 夏子	EPO 中部

⑤プログラム

○あいさつ

○講演「世界中の子育て家族から愛される宿を目指すサステナブルツーリズム」

扇芳閣 谷口 優太 氏

○話題提供「鳥羽市の取り組み～鳥羽の SDGs まなブック・ピリカ等の取り組み事例を紹介～」

鳥羽市長 中村 欣一郎 氏

○話題提供「鳥羽温泉郷の取り組み～海藻×環境×SDGs を紹介～」

鳥羽市温泉振興会 山下 正樹 氏

海女・フォトグラファー 大野 愛子 氏

○取組紹介 1：鳥羽シーサイドホテル株式会社 営業部長 坂口 幸司 氏

○取組紹介 2：伊勢志摩リゾートマネジメント株式会社 総支配人 惣明 福德 氏

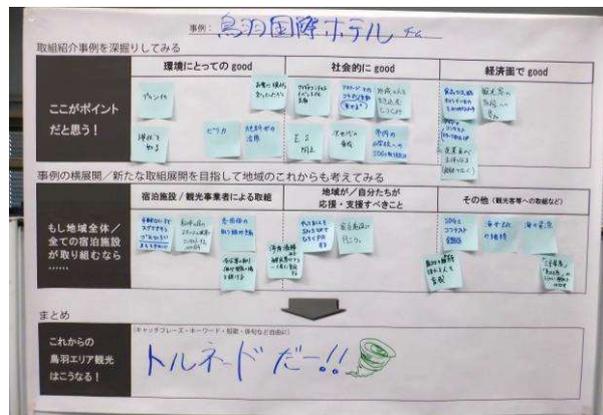
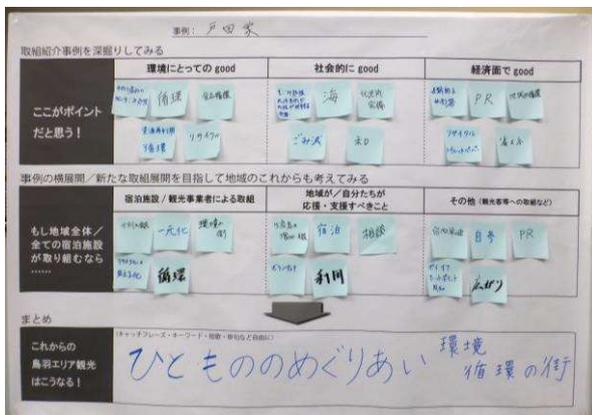
○取組紹介 3：株式会社戸田家 取締役執行役員 業務支配人 宍倉 秀明 氏

○取組紹介 4：The Earth 宿泊支配人兼業務マネージャー 向井 隆広 氏

○取組紹介 5：鳥羽市リサイクルパーク NPO とばりサイクルネットワーク 理事長 中村 孝 氏

○ワークショップ「鳥羽の環境にやさしい取組～これから私たちにできること～」

○講評 中部地方環境事務所



⑥開催案内資料

環境へのアプローチを活かした
鳥羽の観光創発ミーティング

開催案内

2024年1月16日(火)13時00分 開催

開催概要

日時
2024年1月16日(火) 13時00分～15時30分

会場
鳥羽商工会議所 3階・かめめホール
(三重県鳥羽市大明寺町1-7)
<https://goo.gl/maps/omwNG5rHtaAWL667>

主催等
主催：環境省 中部環境パートナーシップオフィス (EPO中部)
協力：鳥羽市、鳥羽市温泉振興会



開催の趣旨

三重県鳥羽市において、市や温泉振興会、観光事業者等が集い、鳥羽エリアのサステナブルツーリズムに関わるこれまでの取組やPRの手法等について、改めて振り返りを行い、情報共有を行う会合を実施します。

会合では、今後の鳥羽エリアにおけるサステナブルツーリズム、及び当地の代表的な観光資源《海》と《温泉》のワイズユースやその活用によるまちづくりのあり方、方向性などについてのアイデアを出し合うなどして、今後、関係者間で取組が創発されていく場づくり・雰囲気づくりを目指します。

プログラム1/2

はじめに

- ごあいさつ
鳥羽市長 中村 欣一郎氏
鳥羽市温泉振興会会長 吉川 勝也 氏
- ごあいさつ/本日の趣旨
環境省 中部地方環境事務所

講演 (20分)

- 世界中の子育て家族から愛される宿を目指すサステナブルツーリズム
扇芳閣 谷口 優太 氏

話題提供 (10分×2)

- 鳥羽市の取り組み
～鳥羽のSDGsまなブック・ピリカ等の取り組み事例を紹介～
鳥羽市長 中村 欣一郎 氏
- 鳥羽温泉郷の取り組み
～海藻×環境×SDGsを紹介～
鳥羽市温泉振興会 山下 正樹 氏
海女・フォトグラファー 大野 愛子 氏

プログラム2/2

取組紹介 (各8分)

- 取組紹介1 鳥羽シーサイドホテル様
- 取組紹介2 鳥羽国際ホテル様
- 取組紹介3 戸田家様
- 取組紹介4 シ・アース様
- 取組紹介5 鳥羽市リサイクルパーク様

取組紹介事例ごとのグループワークショップ (50分)

- 鳥羽の環境にやさしい取組
～これから私たちにできること～

参加方法

参加申込フォームから
<https://forms.gle/TNMaoSmEiaUDZbb48>



問合せ先/連絡先

環境省中部環境パートナーシップオフィス(EPO中部)
TEL: 052-218-8605 / E-mail: info@epo-chubu.jp
<https://www.epo-chubu.jp>

鳥羽市観光商工課
TEL: 0599-25-1157
メールフォーム:
<https://www.city.toba.lg.jp/cgi-bin/inquiry.php?393page=1712>




皆さまのご参加をお待ちしております。

イ 地球温暖化に関する中部カンファレンス「水素・アンモニア実装に向けた中長期展望」

①日時

- 2024年2月13日（火）13:30～16:20

②会場

- 名古屋銀行協会 201 会議室（愛知県名古屋市）

③主催

- 環境省中部地方環境事務所・中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）

④参加者

- 149 名
 - 会場参加 44 名（登壇者、事務局含む）
 - オンライン：webex 接続 105 件

⑤プログラム

○あいさつ

○国からの報告「最新、水素等の導入状況を知る」

環境省 地球環境局 地球温暖化対策事業室長

経済産業省 中部経済産業局 カーボンニュートラル推進室長

国土交通省 中部地方整備局 計画企画官

○自治体や企業からの報告「水素・アンモニア実装に向けた行動」

愛知県 水素社会実装推進室室長

日本郵船株式会社 燃料炭・アンモニアグループ長

株式会社 JERA 企画統括部 脱炭素推進室長

○フリーディスカッション「水素等社会へのロードマップ」

モデレーター：名古屋産業大学 伊藤 雅一 教授

パネリスト：環境省 地球環境局 地球温暖化対策事業室長

経済産業省 中部経済産業局 カーボンニュートラル推進室長

国土交通省 中部地方整備局 計画企画官

愛知県 水素社会実装推進室室長

日本郵船株式会社 燃料炭・アンモニアグループ長

株式会社 JERA 企画統括部 脱炭素推進室長

○閉会あいさつ



ウ 知多半島5市5町勉強会「地域交通×脱炭素について考える」

①日時

- 2024年3月11日（月）14：00～16：15

②会場

- 半田市市民交流プラザ ホール（愛知県半田市）

③主催・協力

- 主催：半田市（知多半島5市5町勉強会主催）、環境省中部環境パートナーシップオフィス（EPO 中部）
- 協力：環境省中部地方環境事務所、三菱UFJ銀行

④参加者

- 36名（自治体職員23名、金融機関4名、登壇者・関係者4名、事務局5名）

所属	役職	氏名
常滑市 民生活部 生活環境課	主任	長田 遥
常滑市 民生活部 市民協働課	主任	伊藤 真敬
常滑市 企画部 企画課	主任	森 要平
東海市 生活環境課 ゼロカーボン戦略室	統括主任	久野 貴史
大府市 環境課	係長	植木 孝
大府市 環境課	主事	村下 澄
大府市 環境課	主事	相羽 耕貴
大府市 都市政策課	主任	浅岡 和俊
知多市 環境経済部環境政策課	課長補佐	小嶋 仁
知多市 環境経済部環境政策課	主事	石川 光孝
知多市 企画部企画情報課	課長補佐	中井 貴之
知多市 企画部市民協働課	統括主任	加藤 正樹
阿久比町 建設環境課	係長	米塚 利樹
阿久比町 防災交通課	係長	武田 啓介
東浦町 環境課	主事	加古 将人
南知多町 総務部 成長戦略室	主任主査	内田 健二
南知多町 厚生部 環境課	係長	家田 直政
美浜町 企画課	係長	村田 元樹
美浜町 環境課	係長	寺本 幸多良
武豊町 環境課	主事	水谷 恭祐
武豊町 防災交通課	主査	岩川 幸樹
半田市 市民経済部 環境課	主事	片山 高也
半田市 企画部 企画課	主事	柘宜田 孝美
三菱UFJ銀行 東海公務部 公務第二課	次長	加藤 理一
三菱UFJ銀行 半田支店	支店長	林 義人
三菱UFJ銀行 半田支店	次長	安部 良佑
三菱UFJ銀行 半田支店		本田 愛沙

所属		氏名
講師	日本福祉大学 教授	千頭 聡
講師	大同大学 准教授	樋口 恵一
(同行)	知多乗合株式会社 代表取締役	榊原 研二
講師	知多乗合株式会社 取締役 運輸営業部長	橋本 大輔
環境省	中部地方環境事務所 地域脱炭素創生室 室長補佐	国立 将光
環境省	中部地方環境事務所 地域脱炭素創生室 脱炭素地域づくり専門官	柴田 真志
事務局	EPO中部 統括	清本 三郎
事務局	EPO中部	原 理史
事務局	EPO中部	富田 夏子



エ 奥三河エリアの地域循環共生圏づくり

- 愛知県奥三河エリアで地域循環共生圏づくりに取り組む「奥三河エレクトレ」（構成団体：したらワークス、J A 愛知東、三河の山里コミュニティパワー、設楽町）が主催する 2024 年 2 月 14 日開催のローカル SDGs 奥三河フォーラム『地域に経済を取り戻す』に出席し、奥三河エリアの地域循環共生圏づくりに関わる次年度(2024 年度)以降の展開の提案資料として、次資料を作成し、中部地方環境事務所へ提出した。

奥三河エリアの地域循環共生圏づくり

次年度(2024年度)以降の展開についての 提案資料

2024年2月
EPO中部

1

奥三河エリアについて

- 奥三河エリア:「新城市」「設楽町」「東栄町」「豊根村」の4市町。
- 愛知県の東北部に位置し、北は長野県に、東は静岡県に接している。



【奥三河エリアの地域概要】

愛知県webサイト・新城設楽振興事務所ページより抜粋

- 面積は約1,052km²(愛知県の20.4%)で、県内最高峰の茶臼山を始め奇岩が林立する鳳来寺山などの山々がそびえ、天竜奥三河国定公園、愛知高原国定公園など、四季折々に風光明媚な景勝地が多くある。
- 人口は約5万7千人(県人口の0.8%)で、若年層の流出、山間地での過疎化・高齢化が進行しており、地域社会の活力の低下などが懸念されています。
- 特産品は、お茶、柿、ぶどう、梅、しいたけ、じねんじょ、トマト、シクラメンなど。ニジマス、アマゴの養殖も行われている。清流のアユ、アマゴなどを目的に、溪流釣りシーズンには多くの遊漁者が訪れる。
- 「花祭」「田楽」をはじめとする多数の無形民俗文化財が保存・伝承されている。

【出典・引用】上テキスト:<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shinshiroshitara/0000057600.html>

右2図:奥三河観光ナビ:<https://www.okuminavi.jp/access/>



2

2024年2月14日開催・ローカルSDGs 奥三河フォーラム

- 奥三河で持続可能なまちづくり、地域エネルギー事業に取り組む主体や、地域課題解決・地域経済循環等に関心のある人を対象にしたフォーラムが2月14日愛知県設楽町で開催された。
- プログラム
 - ・ 開催挨拶「ローカルSDG's奥三河フォーラムの狙いと奥三河地域に対する期待」環境省中部地方環境事務所
 - ・ 発議講演「多者協働による地域課題解決と地域新電力の役割～豊田市山村地域のケース」MYパワー
 - ・ 主幹団体コメント:①設楽町企画ダム対策課、②したらワークス、③JA愛知東、④MYパワー
 - ・ ワークショップ「ともに考えまい!奥三河のこと」
 - ・ 総括と共同宣言:設楽町長



多様なセクターによる協働の地域づくりのきっかけづくりを
目的に開催された

3

奥三河フォーラムで発議された地域課題

主幹団体／奥三河エリートレ	設楽町から	人口減、担い手不足、移住対策、住民参加
	JA愛知東から	地域コミュニティの維持、遊休農地、助け合いの仕組みはあるが若者等のマンパワー不足、施設の維持管理
	したらワークスから	人材調達の難しさ、冬場の派遣先が少ない、マルチワーカーの求人確保、町外への展開、派遣先に魅力向上、移住者の住居確保、したらワークスの自主運営
	MYパワーから	地域の疲弊への対応、地域経済循環の確保、食・エネルギーの地産地消、「地域の人手とお金で」ローカルSDGs実現を
参加者から		人材育成:事業の裾野を広げるために、一歩が踏み出せない人をどのように巻き込めばよいか
		地域の魅力アップの方法

4

次年度以降の展開ストーリー／4つの主題

展開ストーリー：4つの主題、或いは、4つのステップ

- ① 協働・・・ 住民参加が難しい、多様なセクターを巻き込みたい
 - 協働がなぜ重要なのか
- ② 共感・・・ データも重要、地域のためという正しさも重要
 - プラス、どう「共感」してもらうか？
- ③ 創発・・・ 地域ビジネス・事業等は生みたい
 - 地域課題＝地域ニーズがある、はじめの一步を協働で考える、次々生まれる
- ④ 未来像・・・ なりたい地域の未来像とその実現に向けて
 - 地域で未来像を共有する、地域に何が必要か・何が望まれているかを改めて明らかにしてみる

※ ④について：④を最初に考えるか、最後に考えるかは事務局のシナリオしたい。

- ・ 最初に考える⇒このプロジェクトで何を指すかある程度決まっている場合 など
- ・ 最後に考える⇒協働・共感・創発を体感し、熟度をあげて④で仕上げる など

5

提案：1～2年かけて計4回の会合実施

	ステップ	形式	テーマ／問いかけ	備考
第1回目	協働	勉強会	ローカルSDGs実践でなぜ「協働」が重要か？	・ 地域循環共生圏事業のアドバイザー等学識者による講演、PF事業採択団体による取組紹介など
第2回目	共有	視察	地域課題を実感・体感しているか？実践者・先進者の想い・熱意をわけてもらう	・ 地域課題に関わる場所・施設や先進的な取組者などを訪問するエクスカージョンの実施など
第3回目	創発	勉強会	地域ビジネス、地域課題解決事業を自由に妄想・発想してみる	・ 地域課題、地域の厄介モノを地域資源に転換するアイデア出しワーキングの実施など
第4回目	未来像	ワーキング	なりたい地域の未来像を考える その実現に必要なことを考える	
	おひろめ	フォーラム	第1回～4回の成果をおひろめして地域で共有する	

※ 仲間づくりが難しい場合は、第4回目を第1回に行い、参加者(=関心のある人)との関係構築からはじめることも考えられる。

6

オ GEOC が開催する事業検討会議への参加

- GEOC が開催する、ステークホルダー連携促進事業の事業検討会議に下記の通り出席し、実施状況・内容等についての情報共有と意見交換を行った。
- 出席にあたり、ステークホルダー連携促進事業の中部の実施内容を所定のシートに記入し、事前に GEOC へ提出した。

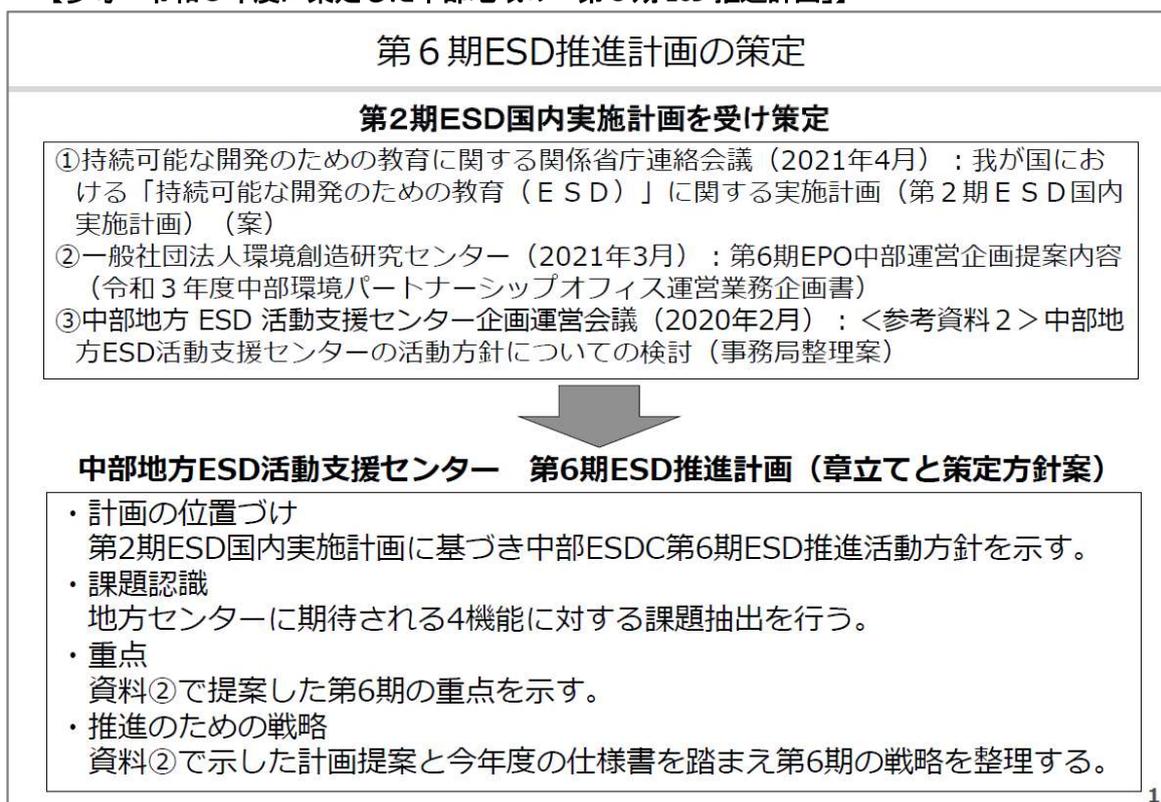
会合	開催日	会場	実施内容等
事業検討会議	2月29日	GEOC	<ul style="list-style-type: none">● 【議題 1】今年度の SH 連携促進事業の実施報告● 【議題 2】来年度の実施イメージ検討

6 中部地方 ESD 活動支援センター運営業務

(1) 中部地方 ESD 活動支援センターの運営・推進

- 令和3年度に策定した中部地域の「第6期 ESD 推進計画」をもとに、中部地方 ESD 活動支援センターの業務内容等を検討し、ESD/EPO 運営委員会（第1回会議）に諮問のうえ、関係する委員からの開催地域、連携機関、協働方法等の助言を業務実施計画に反映した。
- この業務実施計画をもとに、今年度のセンター運営及び ESD 活動支援・推進に取り組んだ。

【参考：令和3年度に策定した中部地域の「第6期 ESD 推進計画」】



(2) ESD 活動に関するネットワークの構築

ア ESD 推進ネットワーク地域フォーラムの開催

①名称

- 中部地方 ESD 推進ネットワーク地域フォーラム 地域と学校をつなぐ ESD

②日時

- 2023 年 9 月 21 日（木）13：00～16：30

③開催方法（ハイブリッド）

- オンライン：zoom
- 会場：ウインクあいち 907 会議室（愛知県名古屋市中区）

④主催

- 中部地方 ESD 活動支援センター

⑤出席者

- 38 名（会場参加 17 名（登壇者、事務局含む）／zoom 参加 21 件）

⑥プログラム

○挨拶 環境省中部地方環境事務所

○基調講演「地域づくりと学校教育・今求められる地域の ESD」

金沢大学大学院教職実践研究科 准教授 加藤 隆弘 氏

○話題提供「学校と地元が好きだから～地域と協働した学校教育づくり」

愛知県東浦町立緒川小学校 校長 鬼頭 学 氏、同校教諭 森 倫子 氏

○話題提供「ESD・SDGs を学び合うコミュニティづくり」

北陸 ESD 推進コンソーシアム コーディネーター 池端 弘久 氏

○地域 ESD 拠点登録団体による事例報告～地元で！大人と子どもの ESD

報告 1 「子どもたちの ESD から SDGs まちづくりに」 ななお SDGs スイッチ 入口 翔 氏

報告 2 「地域の自然資源を活かした学校の ESD」 勝山市（勝山市教育委員会） 廣田 大吾 氏

報告 3 「循環型社会を担う企業から子どもたちへ」 加山興業株式会社 井上 智博 氏

○交流ディスカッション

コーディネーター：

中部大学国際 ESD・SDGs センター准教授 中部 ESD 拠点協議会事務局長 古澤 礼太 氏

○ふりかえり交流・ESD 推進ネットワーク登壇者、ESD 拠点団体による意見交換

コーディネーター：

中部大学国際 ESD・SDGs センター准教授 中部 ESD 拠点協議会事務局長 古澤 礼太 氏



⑦ポスターの制作

- フォーラムのポスター／チラシを制作し、開催案内とともに、中部エリアの地域 ESD 拠点へ郵送及びメールで送付した。

【制作したポスター／チラシ】



中部地方ESD推進ネットワーク地域フォーラム

地域づくりは人づくりです。持続可能な地域づくりに、学校との連携は欠かせません。

学校と社会の連携による人づくりの場は、子どもたちだけでなく、大人たちにとっても大きな学びの場です。学びの場に関係する様々な主体が持続可能性教育ESDを意識して活動することで、より楽しく元気な地域づくりにつながります。

環境省と文部科学省が共同で取り組んでいるESD推進ネットワークでは、各地方のESD活動支援センター主催の交流連携事業を行っています。中部地方ESD活動支援センターでは、構成員の地域ESD拠点とともに、ESDネットワークの交流を深めるために「中部地方ESD推進ネットワーク地域フォーラム」を開催します。皆様のご参加をお待ちします。

2023年9月21日(木) 13:00～15:50

オンライン開催・参加無料

プログラム

挨拶・趣旨説明

第1部 基調講演 「地域づくりと学校教育・今求められる地域のESD」
金沢大学大学院教職実践研究科准教授 加藤 隆弘 氏

話題提供 「学校と地元が好きだから～地域と協働した学校教育づくり」
愛知県東浦町立緒川小学校校長 鬼頭 学 氏
愛知県東浦町立緒川小学校教諭 森 倫子 氏

「ESD・SDGsを学び合うコミュニティづくり」
北陸ESD推進コンソーシアム コーディネーター 池端 弘久 氏

第2部 地域ESD拠点登録団体による事例報告 ～ 地元で！ 大人と子どものESD

報告1 「子どもたちのESDからSDGsまちづくりに」 なのおSDGsスイッチ 入口 翔 氏

報告2 「地域の自然資源を活かした学校のESD」 勝山市(勝山市教育委員会) 廣田 大吾 氏

報告3 「循環型社会を担う企業から子どもたちへ」 加山興業株式会社 井上 智博 氏

交流ディスカッション コーディネーター：中部大学国際ESD・SDGsセンター准教授、中部ESD拠点事務局長 古澤 礼太 氏

申込方法 QRコードから申し込みサイトにアクセスしてください。
参加登録すると、@zoom.us または @chubuesdcenter.jp のアドレスから登録されたメールアドレス宛に招待メールが自動送信されます。

中部ESDセンター 検索

<https://us02wzb.zoom.us/j/42020d497445220ac1c461191672720645xgb>

主催事務局 / 問合せ先 中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部)
E-mail: office@chubuesdcenter.jp

中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

イ SDGs 学生サミットの開催

①イベント名

- SDGs 学生サミット

②日時

- 2024年2月10日(土) 13:00~17:30

③開催方法

- オンライン開催: zoom、YouTube 配信

④主催等

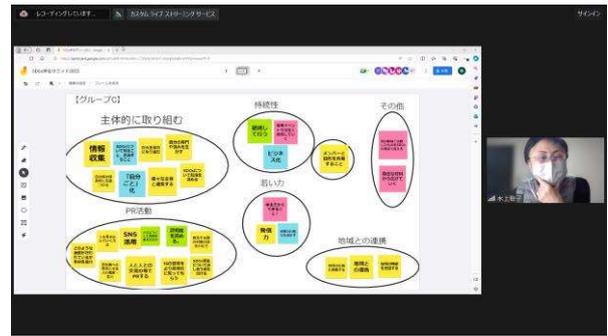
- 主催: 中部地方 ESD 活動支援センター (環境省 EPO 中部)
- 協力: 中部大学中部高等学術研究所、国際 GIS センター問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点

⑤参加者

- 85 名
 - Zoom 参加 (登壇) 77 件 (関係者・事務局含む)
 - YouTube ライブ配信視聴 8 件

⑥プログラム

- あいさつ 環境省中部地方環境事務所
名古屋市立大学 副学長 教授 伊藤 恭彦 氏
- 団体発表「若者にとっての SDGs~学習活動等の取組紹介や展望~」
中部地方に所在する大学等の学生・ユースグループ、6 団体
中部大学 ESD エコマネーチーム
岐阜大学 G-amet
松本大学
金沢星稜大学
静岡大学
あいちサステイナ研究所 チーム・サンゲツ
- 話題提供「地域の SDGs の取組~自治体の SDGs の取組について~」
中部地方の SDGs 未来都市に選定されている基礎自治体 3 市
富山県南砺市 (2019 年度選定)
岐阜県美濃加茂市 (2021 年度選定)
長野県上田市 (2022 年選定)
- 「見える化プログラム」分析と「地域 SDGs データセット」 **※第 5 期作成ツール活用**
- パネルディスカッション「ローカル SDGs 達成のためにすべきこと、できること！」
進行: 原 理史 (中部地方 ESD 活動支援センター)
総括: 伊藤 恭彦 氏 (名古屋市立大学副学長、ESD/EPO 中部運営委員会 座長)



⑦開催案内チラシ



SDGs 学生サミット

2024年2月10日(土)
13:00~17:30・オンライン

中部地方の学生・ユースグループ等が「若者にとってのローカルSDGs」をテーマにオンラインで取組を発表します。

発表団体 順不同

- ▶ 中部大学 ESDエコマネージャーチーム
- ▶ 岐阜大学 G-amet
- ▶ 松本大学
- ▶ 金沢星稜大学
- ▶ 静岡大学 (招待)
- ▶ あいちサスティナ研究所 チーム・サンゲツ (招待)

一般参加 申込不要

- ▶ 当日 YouTubeライブ配信を視聴できます。
- ▶ 視聴URLは webページに掲載します。



ハブとなる中部大学中部高等学術研究所
デジタルアースルーム

プログラム

- **第1部 団体発表**
若者にとってのSDGs～学習活動等の取組紹介や展望～
▶ 中部地方に所在する大学等の学生・ユースグループが、SDGsの取組・活動について発表を行います。
- **第2部 話題提供**
地域のSDGsの取組～自治体のSDGsの取組について～
▶ 中部地方のSDGs未来都市に選定されている基礎自治体の担当者から、施策や取組をご紹介します。
- 富山県南砺市 (2019年度選定)
- 岐阜県美濃加茂市 (2021年度選定)
- 長野県上田市 (2022年度選定)
- **第3部 パネルディスカッション**
ローカルSDGs達成のためにすべきこと、できること！
進行：原 理史 (中部地方ESD活動支援センター)
総括：伊藤 恭彦氏 (名古屋市立大学副学長、ESD/EPO運営委員会 座長)

Webページ ▶ 



主催▶ 中部地方ESD活動支援センター (環境省EPO中部)
協力▶ 中部大学中部高等学術研究所、国際GISセンター問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点



中部地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

ウ 地域 ESD 拠点等の ESD 活動の支援

- 拠点登録済み団体が主催するイベント等について、中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイト等で下記の通り、広報協力を行った。

【中部地方 ESD 活動支援センターウェブサイトに掲載した登録団体への広報協力記事】

地域ESD拠点トピック	
 <p>2024.02.20 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック いのちをつなぐ水と流域 地球市民対話プロジェクトを開催 開催日時：2024年3月2日（土）10：30～16：30 一般参加の申込締切：2月26日（月）まで</p>	 <p>2023.07.25 地域ESD拠点トピック 『なごやSDGsスタンプラリー』を開催 開催期間：2023年8月1日（火）～8月31日（木）</p>
 <p>2024.02.20 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック 『四日市の海でアサリを育てよう』を開催 開催日時：2024年3月9日（土）10：30～12：00 申込締切：2024年3月3日（日）【先着30名】</p>	 <p>2023.07.21 地域ESD拠点トピック 愛知学院大学×中部大学×なごや環境大学「SDGs普及啓発教育プログラム」受講生募集 申込締切：2023年9月1日（金）</p>
 <p>2024.02.08 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック 中部圏SDGs広域プラットフォーム公開セミナー「モニタリングと情報発信」シリーズ～SDGs後半戦における効果的な戦略～を開催 開催日時：2024年2月15日（木）15：00～17：00</p>	 <p>2023.06.27 地域ESD拠点トピック 自然ふれあい講座「みんなで温暖化ウオッチ～セミのぬげがらを探せ！2023～」を開催 開催日程：2023年8月1日（火）～8月6日（日） 開催場所：長野県大町市・飯田市・伊那市・松本市・上田市・長野市</p>
 <p>2024.02.01 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック 生物多様性とサバルチャーの世界を開催 開催日時：2024年3月9日（土）14：00～16：00 申込締切：2024年3月4日（月）※先着300名</p>	 <p>2023.05.02 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック SDGs折り鶴プロジェクト from 富山を開催 ～あなたのまちから広島へ届けよう～ 開催日時：2023年5月12日（金）・13日（土）10：00～16：00</p>
 <p>2024.01.31 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック 『愛知県西尾市「鳥羽の火祭り」は、なにが燃えている？』を開催 開催日時：2024年2月11日（日）14：40～19：00 申込締切：2024年2月8日（木）</p>	 <p>2023.04.17 地域ESD拠点トピック SDGsオンラインセミナー「地域の企業から学ぶ脱炭素」を開催 開催日程：6/2、6/30、7/28、8/25（第1回～第4回） 申込締切：5/30、6/27、7/25、8/22</p>
 <p>2023.12.01 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック 第2回SDGsリレートークを開催 開催日時：2023年12月13日（水）15：20～16：50</p>	
 <p>2023.11.20 イベント&ニュース 地域ESD拠点トピック 第14回中部大学ESD・SDGs研究・活動発表会を開催 開催日時：2023年11月29日（水）15：20～18：10</p>	
 <p>2023.10.02 地域ESD拠点トピック 2023年度（第8期）中部サステナ政策塾 塾生を募集 開催時期：2023年10月～2024年2月（全4回） 応募締切：2023年10月15日（日）</p>	
 <p>2023.09.28 地域ESD拠点トピック 講座「衣食住からSDGs～日本の伝統編～」を開催 衣食住から日本の伝統的なテーマをピックアップしSDGsとの関わりを学ぶ講座です。 開催日程：10月7日・10月21日・12月2日（全3回）</p>	
 <p>2023.09.28 地域ESD拠点トピック 記念講演会「カーボンニュートラルと地域循環共生圏」を開催 開催日時：2023年10月11日（水）15：15～16：45 入場無料・事前予約制</p>	
 <p>2023.09.28 地域ESD拠点トピック 四日市の海でアサリを育てようを開催 開催日時：2023年10月28日（土）10：00～12：00 応募締切：2023年10月14日（土）</p>	

(3) 全国センターとの連携協力の推進等

(ア) 全国センターによる年次アンケートの実施支援

- 2023年4月に、全国センターが地域ESD拠点を対象に年次アンケートを実施するにあたり、適宜、中部エリアの地域ESD拠点団体に対し、協力依頼等を行った。

(イ) 地域ESD拠点登録審査への協力

- 今年度、中部エリアにおいて、新たな地域ESD拠点登録の申請は発生しなかった（2024年3月現在、20団体が登録）。

(ウ) 後援申請対応

- 中部地方ESD活動支援センターの後援名義使用について、下記の事務局から全国センターに申請があり、全国センターからの照会対応を行った。

申請主体	承認日	申請行事		
		名称	開催日	場所/方法
名古屋市環境局環境企画課	4月25日	SDGs まちづくり推進事業	2023年5月2日～ 2024年3月31日	各地域等
一般社団法人環境市民プラットフォームとやま(PECとやま)	4月27日	体験型ワークショップ 「気候変動と水のめぐり」	2023年6月10日	大学(富山県射水市内)
一般社団法人 実践倫理宏正会 富山地区	6月28日	エシックスライツ2023	2023年11月19日	富山産業展示館 (テクノホール)
公益財団法人 こども教育支援財団※	7月21日	第15回 環境教育ポスターコンクール	2023年8月22日～ 2024年3月31日	国内公共施設等
公益財団法人日本極地研究振興会※	8月2日	南極・北極SDGs探究学習 コンテスト	2023年8月21日～ 2024年1月31日	オンライン
ESD・国際化ふじのくにコンソーシアム 静岡大学 教育学部※	11月2日	令和5年度 文部科学省ユネスコ活動費補助金 SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業「社会教育・学校教育融合型のESDを主眼としたカリキュラムパッケージの開発」成果報告会	2024年1月20日	北九州市タカミヤ環境ミュージアム/対面・オンライン併用
東北地方ESD活動支援センター※	11月9日	東北ESD/SDGsフォーラム2023～ SDGs達成に向けた 東北の今と未来～	2023年12月16日	仙台国際センター/対面・オンライン併用
北陸ESD推進コンソーシアム	11月27日	2023年度 北陸ユネスコスクール交流会	2023年12月2日	オンライン
信州ESDコンソーシアム	11月28日	令和5年度 信州ESD/SDGs 成果発表&交流会	2024年2月2日～ 2月3日	オンライン
北陸ESD推進コンソーシアム	12月18日	2023年度石川県SDGs・ESD児童 生徒学習活動交流会	2024年1月20日	オンライン
北陸ESD推進コンソーシアム	1月9日	2023年度北陸ESD推進 コンソーシアム成果報告会	2024年2月10日	金沢勤労者プラザ +オンライン

※：全ての地方センターに後援申請があった催事

(エ) 全国センター主催会議等への出席、資料提供等

- 全国 ESD センターから招聘された全ての会議等へ出席し、資料提供などを行った。

会合	回/開催日	実施内容
作業部会	第1回 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 今年度の各センターの気候変動教育事業をチャートにおとし、戦略やねらい(社会的インパクト)を共有すること ▪ 拠点アンケートのうち気候変動教育の例を抽出して共有すること
	第2回 11月15日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学び合いプロジェクト全体の目標確認 2. 各地方センターの学び合いプロジェクトの共有 3. 気候変動を軸とした ESD 実践事例ヒアリングについて 4. 「ESD 推進ネットワーク全国フォーラム 2023」について
全国・地方 連絡会	第1回 5月31日	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 【議題1】ESD 関連施策の最新動向、環境関連人材育成施策の最新動向 ▪ 【議題2】共有: 全国センターの事業について ▪ 【議題3】共有: 各センターの事業予定について ▪ 【議題4】気候変動教育に関する共有・議論
	第2回 1月24日	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 【議題1】2024 年度 ESD 関連施策の方向性について ▪ 【議題2】学び合いプロジェクト報告と気候変動教育の実施状況 ▪ 【議題3】2024 年度 ESD 活動支援センター・ESD 推進ネットワークの活動
全国 フォーラム	12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 基調報告: 文部科学省「ESD の推進に向けた文部科学省の取組について」 ▪ 基調報告: 環境省「環境施策及び環境教育・ESD の最新動向について」 ▪ セッション「気候変動を切り口とした ESD の意義とひろがり」
企画運営 委員会	第1回 6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 開会挨拶・委員紹介 ▪ ESD 活動支援センター2023 年度事業について ▪ 2022 年度地域 ESD 活動推進拠点アンケート結果
	第2回 2月27日	<ol style="list-style-type: none"> 1. ESD 活動支援センターの本年度主要事業について(報告) 2. 気候変動を切り口とした ESD の今後の進め方について(2025 年度迄の方針) 3. 2024 年度 ESD 活動支援センターの活動について
全国ネット ワーク団体意 見交換会	9月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 【話題提供】国内外の ESD・気候変動教育の動向 2. 【話題提供】日本環境教育学会「気候変動教育プロジェクト」について 3. 【話題提供】中小企業を対象とした研修教材の紹介 4. 総括コメント 5. 「ESD 推進ネットワーク全国フォーラム」の案内

(4) 自然資産等の活用によるESD促進（ESDダイアログの開催）

① イベント名

- 南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク ESDダイアログ 2023
～自然を活用する人づくり～

② 日時

- 1日目 ESDダイアログ：2023年11月18日（土）13：30～16：30
- 2日目 エクスカーション：2023年11月19日（日）8：30～14：40

③ 会場

- 1日目：伊那市生涯学習センター 5階 研修室（長野県伊那市）
- 2日目視察地：南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークの見学

④ 主催等

- 主催：中部地方ESD活動支援センター（環境省EPO中部）
- 共催：南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク協議会（飯田市、伊那市、大鹿村）

⑤ 参加者

- 1日目：41名（一般参加15名、登壇者・関係者・事務局26名）
- 2日目：19名（一般参加6名、関係者・事務局13名）

⑥ プログラム

1日目 ESDダイアログ

○あいさつ

環境省中部地方環境事務所 課長補佐 縄野 正衡

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク協議会副会長／大鹿村教育長 田本 忍 氏

○第一部 基調講演

「国立公園とジオパーク ～自然の保全と活用の今」

環境省伊那自然保護官事務所 石橋 岳志 氏

「自然資本を活かした地域創生とESD」

信州大学教育学部 助教 水谷 瑞希 氏

○第二部 活動報告

「地域で“食”を支える 過疎地の小規模校の挑戦」

伊那市立長谷中学校2年生のみなさん

「遠山郷エコジオパークフィールドスタディ」

松本大学 専任講師 田開 寛太郎 氏、田開研究室所属 工藤 太陽 氏

「南アルプスの大鹿歌舞伎」

大鹿村教育委員会 佐合 礼文 氏

○第三部 中部地方ジオパークの紹介（4ジオパーク）～パネルディスカッション

パネリスト：一般社団法人立山黒部ジオパーク協会 専門員 森内 裕之 氏

白山手取川ジオパーク推進協議会 日比野 剛 氏

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会 町 澄秋 氏

南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク協議会 小澤 恵理 氏

環境省伊那自然保護官事務所 石橋 岳志

コメンテーター：信州大学教育学部 助教 水谷 瑞希 氏
 コーディネーター：中部地方ESD活動支援センター 原 理史

2日目 エクスカーション

○南アルプス（中央構造線エリア）ジオパークサイトの見学



⑦2日目エクスカーション

2日目 エクスカーション 南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークサイトの見学 11月19日(日) 8:30~14:40

マイクロバスで移動。自家用車の利用も可能です。

《 行程 》

- 8:30 ○ 伊那市駅前 【集合 / 出発】
- 市場神社舞台 大鹿歌舞伎の舞台を見学
- 中央構造線河合鞍部 中央構造線の断層鞍部と断層丘陵を観察
- 中尾上部 地蔵峠方面の断層が侵食された谷と大西山崩壊地を遠望
- 大西公園 昼食* (天候によっては交流センター) * お弁当を実費にてご提供します。
- 大鹿村中央構造線博物館... 岩石園 露頭剥ぎ取り標本 1万分の1地形地質模型
- 14:40 ○ 伊那市駅前 【解散】



⑧開催案内チラシ



南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク ESDダイアログ 2023

～ 自然を活用する人づくり ～

2023年11月18日(土)～19日(日) @ 南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク

悠久の地球を体感できるジオパーク。生物と文化の多様性を育む大地を通じて、ESD;持続可能性教育を自然の基(もと)から考えるダイアログ(対話の場)を開催します。

様々なESD学習活動に携わる皆様はもちろん、自然やSDGsにご興味のある方、参加をお待ちしています。

1日目 ESDダイアログ

日時 11月18日(土) 13:30-16:30
会場 伊那市生涯学習センター 5階 研修室
長野県伊那市荒井3500番地1

2日目 エクスカーション

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの見学

日時 11月19日(日) 8:30-14:40
出発/解散 JR伊那市駅前

〈ESDダイアログのプログラム及びエクスカーションの行程は、裏面をご覧ください〉

参加申込方法

申込方法 参加申込フォームからお申し込みください。
<https://forms.gle/vbepcQnLbcimsw1CA>
ウェブサイトからも申込できます。
※ 1日目または2日目のみの参加も可能です。
申込締切：11月7日(火)必着

参加費 参加は無料です。
※ 宿泊は各自で手配願います。
※ 2日目の昼食は実費となります。

お問合せ 中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部)
E-mail:office@chubuesdcenter.jp



参加申込フォーム

写真「南アルプスの山岳景観」 提供：南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会

主催：中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部)
共催：南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会(飯田市、伊那市、大鹿村)

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク ESDダイアログ 2023
 ~ 自然を活用する人づくり ~

1日目 ESDダイアログ

11月18日(土) 13:30~16:30
 伊那市生涯学習センター* 5階 研修室

*〒396-0025 長野県伊那市荒井3500番地1 いなっせ5階 (JR伊那市駅から徒歩5分)
http://www.inacity.jp/shisetsu/kominkan_senter/shogaigakushuserter/access/map.html

《プログラム》

挨拶 縄野正衛氏 環境省中部地方環境事務所課長補佐

挨拶 田本 忍氏 南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会副会長/大鹿村教育長

第1部 基調講演 「国立公園とジオパーク ~自然の保全と活用の今」 石橋岳志氏 環境省伊那自然保護官事務所
 「自然資本を活かした地域創生とESD」 水谷瑞希氏 信州大学教育学部助教

第2部 活動報告 「地域で“食”を支える 過疎地の小規模校の挑戦」 伊那市立長谷中学校2年生のみなさん
 「遠山郷エコジオパークフィールドスタディ」 田開寛太郎氏 松本大学専任講師
 工藤太陽氏 田開研究室所属
 「南アルプスの大鹿歌舞伎」 佐合礼文氏 大鹿村教育委員会

第3部 中部地方ジオパークの紹介(4ジオパーク)~パネルディスカッション

パネリスト(予定): 一般社団法人立山黒部ジオパーク協会

白山手取川ジオパーク推進協議会

恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク推進協議会

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパーク協議会

石橋岳志氏 環境省伊那自然保護官事務所

コメンテーター: 水谷瑞希氏 信州大学教育学部 助教

コーディネーター: 原 理史 中部地方ESD活動支援センター

2日目 エクスカーション

南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークサイトの見学 11月19日(日) 8:30~14:40

マイクロバスで移動。自家用車の利用も可能です。

《行程》

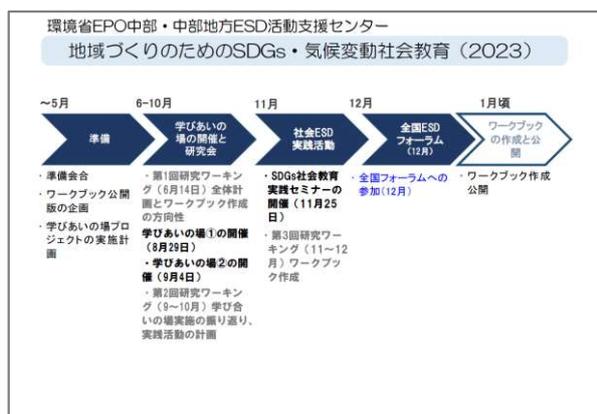
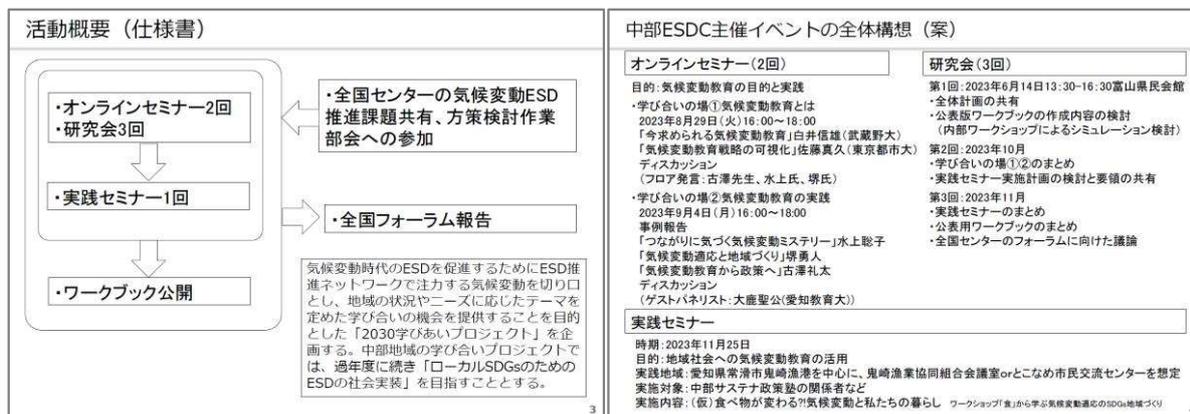
- 8:30 ○ 伊那市駅前 【集合 / 出発】
- 市場神社舞台 大鹿歌舞伎の舞台を見学
- 中央構造線河合鞍部 中央構造線の断層鞍部と断層丘陵を観察
- 中尾上部 地藏峠方面の断層が侵食された谷と大西山崩壊地を遠望
- 大西公園 昼食* (天候によっては交流センター) ※ お弁当を実費にてご提供します。
- 大鹿村中央構造線博物館... 岩石園 露頭剥ぎ取り標本 1万分の1地形地質模型
- 14:40 ○ 伊那市駅前 【解散】

(5) 域内外の多様な主体の連携促進、交流機会の提供

ア 活動計画の作成

- 中部エリアの「ESD for 2030 学び合いプロジェクト」の企画にあたり、学び合いの場（全2回）、実践活動（全1回）についての「活動計画」を SDGs 社会教育研究会ワーキングにおいて検討のうえ作成した。

【作成した活動計画】



イ ノウハウの共有と推進に関する方策の検討

- 気候変動を切り口とした ESD を推進するため、全国センターが開催する作業部会に参加し、ノウハウや課題の共有、方策の検討を行った。
 - 前項「(3) 全国センターとの連携協力の推進等/(エ) 全国センター主催会議等への出席、資料提供等」の表中に、作業部会への出席についても記載。

ウ 交流者の参加募集

- 学び合いの場①、学び合いの場②、実践セミナーの参加者募集を行うにあたり、開催案内用の広報素材、チラシを作成して、地域 ESD 拠点への案内、ウェブサイト・SNS 等での広報展開を行った。

【作成した開催案内用素材】

ESD for 2030 学び合いプロジェクト 中部地方ESD活動支援センター主催

地域づくりのための 気候変動社会教育

2023 8/29 (火) 学び合いの場① 16:00~18:00 ZOOM
気候変動教育とは

2023 9/4 (月) 学び合いの場② 16:00~18:00 ZOOM
気候変動教育の実践

2023 11/25 (土) 実践セミナー 10:00~16:00 現地&一部オンライン
食べ物が変わる?! 気候変動と私たちの暮らし

参加登録はこちら



【作成した開催案内チラシ】

ESD for 2030 学び合いプロジェクト

地域づくりのための気候変動社会教育

食べ物が変わる?! 気候変動と私たちの暮らし

地域づくりの担い手や次世代育成のための気候危機適応を、「食」の観点から「地域づくり」に活かすことをテーマにしたセミナーを開催します。
「食」を身近に感じるために漁港を訪問し、食材と自然の関わりについての話題を聞いた後、現場で海苔養殖の現状を体感します。また、気候変動と「食」にまつわるつながりを議論し、生活と地球環境について考えます。

2023年 11月25日(土) 10:00~16:00
愛知県常滑市鬼崎漁港・鬼崎漁業協同組合会議室
愛知県常滑市蒲池町3-97 <https://www.onigyo.com/>

★ 参加方法：現地参加 または オンライン参加(第1部のみ)
現地参加の方は、当日10:00に鬼崎漁業協同組合会議室(3階)までお越しください。

第1部 話題提供 食の変化と気候変動 10:00~12:00

- 「森里川海からとれる食、気候変動でどう変わる？」
井上俊樹氏 農林水産省東海農政局企画調整室長
- 「伊勢湾三河湾の水産資源の移り変わり」
植村宗彦氏 愛知県水産試験場漁業生産研究所主任研究員
- 「水産業の現場から、鬼崎漁業協同組合」 平野正樹氏 鬼崎漁業協同組合参事
- 「気候変動影響と適応対策」 杉山範子氏 東海学園大学教授(オンライン)

第2部 昼食と現地視察 12:00~14:00
～海苔養殖関連施設等の見学、昼食(各自実費支払)～
コーディネーター：古澤礼太氏 中部ESD拠点・サステナ政策塾

第3部 ワークショップ 14:00~16:00
「食」から学ぶ気候変動適応のSDGs地域づくり
総合ファシリテーター：古澤礼太氏 中部ESD拠点・サステナ政策塾

▶ 参加申込フォーム → <https://forms.gle/GqBFAt7uJHqaesm47>
※ 定員：現地参加30名 + オンライン参加70名
ウェブサイトからお申し込みできます。
申込締切：11月17日(金)  参加申込フォーム

▶ 参加費：無料
※ ただし現地参加者の昼食は実費(800円)となります。

▶ お問い合わせ 中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部) → office@chubuesdcenter.jp

主催：中部地方ESD活動支援センター(環境省EPO中部)
共催：中部ESD拠点協議会(事務局：中部大学)

【ESD for 2030 学び合いプロジェクト】について
全国8カ所の地方ESDセンターでプロジェクトを展開しています。
詳細はESD活動支援センターのwebページ <https://esdcenter.jp/> をご覧ください。